クラブＡ通信

メンバー

近藤幸一、高橋敏行、奥村弥琢、後藤耕司（北大出身）、岩崎大輔、佐藤康行、高橋武文、米澤岳洋、塩田哲星

今年度の登録メンバーは右の通りです。

毎年のことですが、クラブＡのメンバーは多いように見えます。ですが、試合はいつも近藤さんプラス愉快な仲間達４人の計５人なのでギリギリです。一人欠けるとてんやわんやです。その一人が近藤さんだとチームが大会前からざわざわします。そんな東北大クラブＡの今年度の活躍（？）について報告します。

社会人リーグは２複１単（３部以下は３複）で行われます。東北大クラブＡの基本スタンスは、近藤さんのシングルで１本（絶対）、ダブルスどっちかで何とか１本という、完全に近藤さん主体のチームです。今年度のクラブＡは２部からのスタートでした。２部といっても、昔は学生東北リーグの１部でブイブイいわせてた方々が集まっているので、気を抜いているといつの間にやら点を取られているというイメージです。ですが、今でもブイブイいわせてる近藤さん、武文さん、やっちんさん、米澤さんの敵ではありません。６勝１敗、２部１位ですぐさま１部に返り咲きました。

続く秋の大会では、何か皆がやたらと調子が良く、なんと６勝１敗でBEER、ｓと並びました。BEER、ｓはインパルスの堤下さんとその弟を擁する強豪チームです。要するに旧１部校軍団です。しかもセット率ではBEER、ｓに勝っていたため、うちの優勝じゃないかとワイワイ言っていたのですが、なんと、勝敗で並んだ場合、直接対決の結果が考慮されるというのです。なぜマッチ率じゃないんだ？と聞いたところ、『計算がめんどくさいから』と言われてしまいました。そんな大人の事情により我がクラブは１部２位でした。

続く冬の大会では、米澤さんを怪我により欠いてしまったため、大輔（岩崎）さんに参加していただきました。ちなみにこの大会で１位なら全国大会、３位以内なら会長杯という大会に出られるんです。そんな目標もありつつ、前回２位という自信を胸に臨んだ大会だったのですが、結果から言うと１勝６敗で７位、２部降格です。近藤さん個人では４戦３勝なのに、東北大クラブとしては、２部から上がってきたばかりの新参チームに無駄に１部の意地を見せたのみでした。

原因としては以下の通りでしょうか。（パワプロ風）

大輔さん　・・・　右手首に爆弾、左手首に爆弾、右足に爆弾

康行さん　・・・　シングル×（ヤダ）

塩田　　・・・　寸前×、負け癖

武文さん　・・・　恋の病（ワイフの演奏会　※ワイフ＝チェロ弾き）

そんなわけで、最近１部と２部を行ったり来たりの東北大クラブＡです。

ここからは僕個人の感想なんですが、こうやってまた先輩と一緒に団体戦を戦えるというのは、昔を思い出すようでとても懐かしく、楽しいものです。仲間同士、みんなで一緒になって熱くなる、引退してからはそんな機会があまりないので、そんな風にみんなで一緒に楽しく熱くなれるような機会を与えてくれる社会人リーグは、引退後の僕の楽しみの１つです。

来年度には、東北大クラブＡの将来を担う有望な若手が多数入ってくるので、彼らの活躍に期待しましょう。若手と言っても、年齢的に実は塩田の方が若手だって？　……それはまた、別のお話。

文責　しおパイ